



リハビリテーションツーリズム (モデル実証)

教育研修局 マネージャー 和宇慶 亮士 / 国際交流課 主任 比嘉 沙織

「リハビリテーションツーリズム」とは、医療ツーリズム (外国の医療サービスを受けることを目的にした旅行) の中でもリハビリテーションに特化したツーリズムです。タピックグループではホテルに宿泊しながらリハビリテーションに取り組み、沖縄観光も楽しみながら、旅行そのものがリハビリテーションとなるようなツーリズムを目指しています。

厚生労働省「地域の医療・観光資源を活用した外国人受入れ推進のための調査・実証事業」に4年連続で採択され、プロジェクトを進めています。令和6年度には外国籍の患者さま2組が来県し、4泊5日のモデル実証を行いました。午前中は病院やホテルでリハビリテーションを実施、午後はリハビリテーションスタッフも同行のもと沖縄観光へ出かけました。『沖縄市』ではエイサーやユニークな歴史と文化を味わう「まちまいい (街回る)」の体験、『南城市』では琉装での写真撮影や手作りした「ちんすこう」とさんぴん茶で、三線の生演奏と美しい海を眺めながらのティータイム、『宜野座村』では本格的なタラソテラピーやアロマバス ソルト作り、マッサージを体験し、心も体もリラックスして頂きました。

リハビリテーションでは、理学療法士や作業療法士などの専門スタッフによる身体機能へのアプローチやリラクゼーション、帰国後も自宅でもできる自主トレーニングを行い、いずれも全体を通してご好評いただきました。

モデル実証実施にあたり、海外渡航支援企業、医療通訳者、観光スタッフのみなさんと連携、ご協力いただきました。今後も医療と観光が融合したリハビリテーションツーリズムを目指し取り組んでいきます。



東南植物楽園を活用した園芸療法について

東南植物楽園 学芸部 アシスタントマネージャー 仲井間 歩

東南植物楽園では、園芸療法の概念を取り入れた「植物セラピー体験」をウェルネスツーリズムの一環として実施しています。

2024年からは沖縄リハビリテーションセンター病院の利用者様を対象に月に1度のモニターをおこなっており、のべ250名以上のご参加をいただいております。

心身のリフレッシュや植物を活用したリハビリを目的に、香りや手触り、美しさなど五感を活用した植物との関わりを中心とした季節を感じるプログラムを楽しんでいただいております。

今後は病院の先生方とも連携を強化しながら、運動機能やリハビリテーション状況に合わせたプログラムの作成を目指しています。これからも皆様のご協力をどうぞよろしくお願いいたします♪



ケアの質向上に向けた取り組み紹介

①泡シャワーとインカム (無線機) の導入

看護部 事務 久高 萌

患者ケアの充実と業務改善の為、「泡シャワー」と「インカム」の導入を行いました。泡シャワーを体験された患者さんからは、「気持ちいいさあ〜」「すぐに終わっていいね」など好感触な感想を頂きました。普段動きが少ない患者さんが「泡を触りながら自分で洗ってみようね」と自ら手を動かしていた！と嬉しそうに話す職員を見て「職員のモチベーションUP」にも繋がることや時間短縮により他のケアがより充実し、日々の支援の質向上が期待ができました。

併せてインカムを導入によりホール内でのコミュニケーション・情報共有がタイムリーになり、スタッフを探す時間が削減できたことでベッドサイドでの看護ケアの充実に繋がっています。現在、数台の運用ですが、将来的には一人一台を設置し、患者さんへ寄り添える環境づくりを目指します。



泡シャワー



インカム装着時

②スマートベッド導入 (亀の里)

介護老人保健施設 亀の里 管理部 課長 伊禮 翼

スマートベッドシステムを導入し、バイタル測定後は機器をかざすと反映し、ベッドサイドの端末で情報共有が可能となりました。

今後はカメラによるモニター巡視で利用者の安全確認と業務効率化を進めていくことを計画しています。



睡眠日誌



ベッドサイド端末

新任医師紹介

医局 整形外科 長嶺 順信

初めまして。2025年4月から整形外科にてお世話になっております、長嶺 順信 (ながみね じゅんしん) と申します。趣味は草野球・野球観戦・犬の散歩などです。整形外科として濱崎先生・大嶺先生をはじめとしたスタッフに優しく迎え入れてもらい、何とか当院の環境についていっている状況です。快くして若くはないですが、出来る限りフラットな気持ちで丁寧に仕事に励みたいと思っています。至らないことが多数出てくるかもしれませんが、どうぞ遠慮なく物申して下さい。未永くよろしくお願い致します。



心のレシピコーナー

ちよーでーホール 地域連携部 副部長 公認心理師 山城 亮輔

運転をしていると、急に割り込んでくる車がいたりします。これを「無謀な運転」と決めつけ「バカヤロウ」と言ってみるのもひとつですが、別の見方をしてみるのもアリかもしれません。例えば、「よっぽどトイレに急いでいるんだな」とか「今、奥さんが出産中で病院にかけつけているのかもしれない」等々。おそらく、目の前に割り込んできたその車と再度遭遇し、同じような迷惑をかけられる確率は、宝くじで 高額が当選するくらいのものでしょう。だからそんなことにイチイチ腹を立てて、自分の寿命を縮めてしまうのはもったいないことです。それよりも、相手に何が起きているのかを『勝手に想像』して、それを ユーモアに変えていった方がステキだと思いませんか？

この考え方は日常生活のあらゆる場面に使えるものです。われわれは常に誰かとかかわり、相手の言動に一喜一憂させられます。この感情の波を少しでも穏やかにするために、なぜ相手がそんな態度をとったのかについて、都合よくこちらで『勝手に想像』してみると良いでしょう。

直接相手を変えることはできませんが、自分の捉え方を変えることで、「世界」はちょっぴり生きやすくなるものです。ぜひ実践してみてください。

